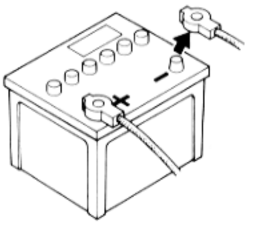
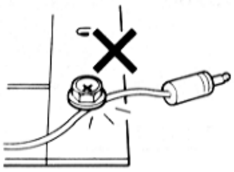
取付説明書(KD-LX３)

JVC

取り付ける前に



- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの(−)側を外しておいてください。
- 安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取り付けてください。
- 取り付け位置が決まったらコードの長さは十分かどうか確認してください。
- 取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。
- **取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。**
- ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようご注意ください。



- 取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。

- 車種によっては、コンソールボックスなどに取り付けるとき、取り付けキット(別売り)を必要とすることがあります。この場合の取り付けかたは、取り付けキットの説明書をご覧ください。
なお、インコンソールに取り付けができない車種もありますので、お求めの際、ご自分の車種・年式に適合するかお買上げの販売店でお確かめください。

ご注意

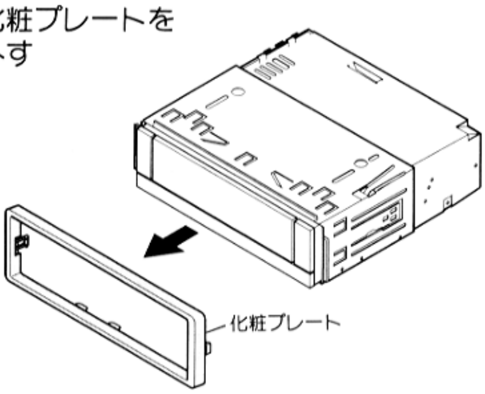
- **取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のネジ(長さ６㎜)をお使いください。６㎜以上のネジを使用しますと故障の原因になります。**
- **本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。**
- **本機は、DC12Vマイナスアース車専用です。**
- **大型バスなどの24V車には使用できません。**

接続が終わったら

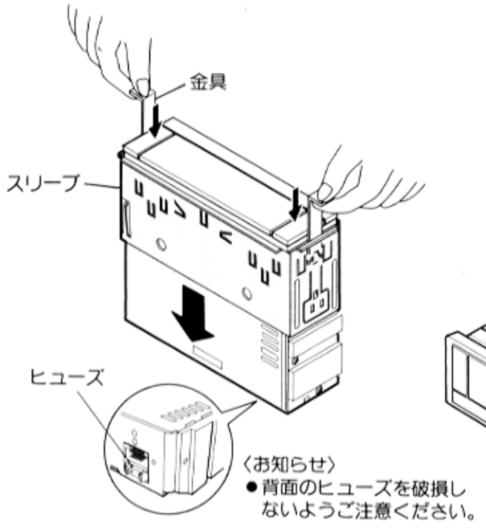
- 外しておいたバッテリー(−)端子を元のように接続し、ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が正しく動作するかお確かめください。

取り付け方法（欧州車の場合）

1. 化粧プレートを外す

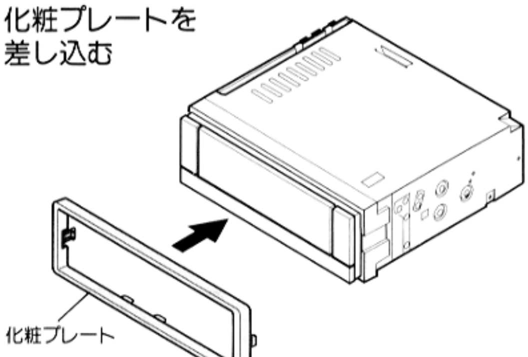


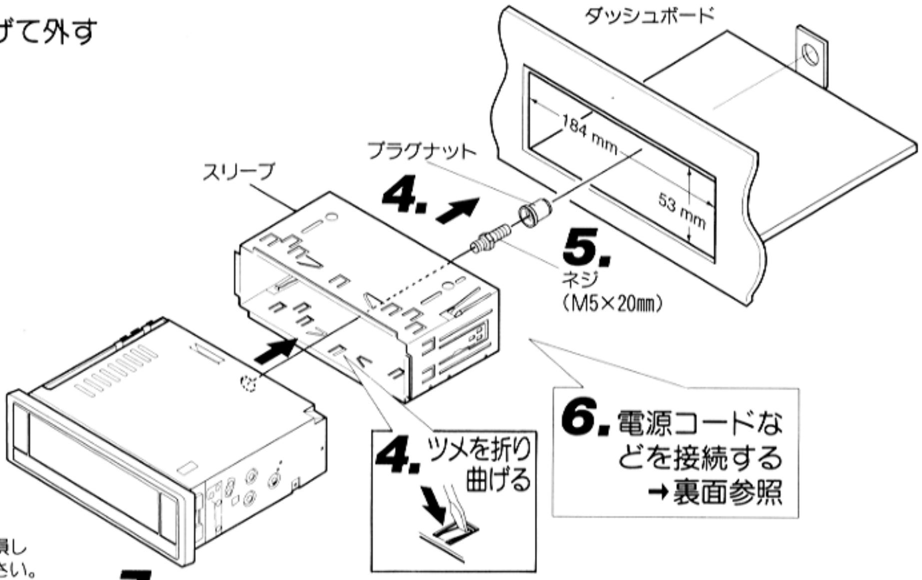
2. 金具を差し込み、スリーブを押し下げて外す



〈お知らせ〉
- 背面のヒューズを破損しないようご注意ください。

3. 化粧プレートを差し込む





4. ツメを折り曲げる

6. 電源コードなどを接続する
→裏面参照

7. 全ての接続が終わったら、本体をダッシュボードに差し込む

LVT0386-001A

国産車に取り付けるとき

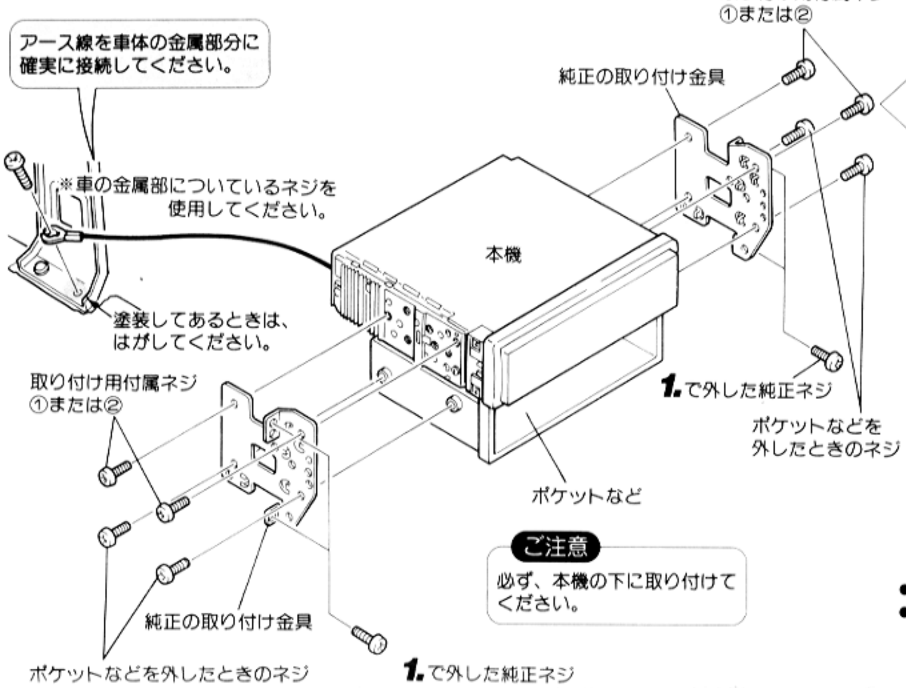
1. 純正のオーディオを外す

2. 本機に純正の取り付け金具を取り付ける

3. 接続する（裏面を参照）

4. 車両に固定する

イラストはトヨタ車の一例です。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。



ご注意
必ず、本機の下に取り付けてください。

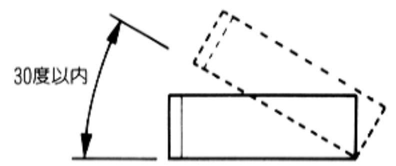
〈取り付け用付属ネジ〉

①バインドネジ　M5×6（本機付属）　②皿ネジ　M5×6（本機付属）

純正取り付け金具の穴の形状に合わせて選んでください。

〈本機の取り付け角度〉

傾きは30度以内で取り付けてください。



- 外したネジ類は紛失しないように大切に保管してください。
- 取り付け金具のツメがじゃまになるときは、折り曲げて平らにして使います。

外部アンプを使用する場合

本機は内蔵アンプの**ON／OFF**が選択できます。
内蔵アンプを使用しないで外部アンプのみを使用するとき、内蔵アンプを**OFF**にすることができます。
外部アンプの接続は「**接続のしかた③**」を参照してください。全ての接続が終わったら、リモコンの⏻/Iボタンを押して本機の電源を入れ、次の操作をします。

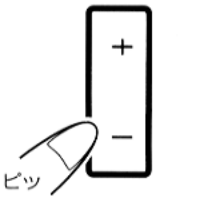
1. **SEL**ボタンを2秒以上押す

・お買い上げのときは「**CLOCK HOUR**」が表示されます。

2. ⇧または⇩ボタンを「ポン・ポン」と押して「**P. AMP SW**（パワーアンプスイッチ）」を選ぶ

・しばらくすると「**P. AMP ON**」が表示されます。

3. ＋、－ボタンの－側を押して「**P. AMP OFF**」にする



（「**P. AMP ON**」に戻すときは＋側を押します）

➡ 内蔵アンプを完全に使用しないことにより、発熱が最小限に押えられクリアな音を楽しむことができます。

4. **SEL**ボタンを押す

サブウーハーを使用する場合

本機の**SUBWOOFER OUT**端子に市販のサブウーハーを接続するときは、カットオフ周波数に合わせて切換えます。
サブウーハーの接続は「**接続のしかた④**」を参照してください。
全ての接続が終わったら、リモコンの⏻/Iボタンを押して本機の電源を入れ、次の操作をします。

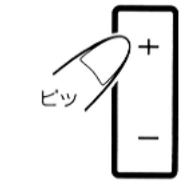
1. **SEL**ボタンを2秒以上押す

・お買い上げのときは「**CLOCK HOUR**」が表示されます。

2. ⇧または⇩ボタンを「ポン・ポン」と押して「**CUT OFF F**（カットオフフリケンシー）」を選ぶ

・しばらくすると「**FREQ MID**」が表示されます。

3. ＋（または－）ボタンで周波数を選ぶ



・－側を押すと逆に変わります。

- **FREQ MID**（フリケンシー ミドル）：カットオフ周波数の上限が80Hzのとき
- **FREQ HIGH**（ハイ）：120Hzのとき
- **FREQ LOW**（ロウ）：50Hzのとき

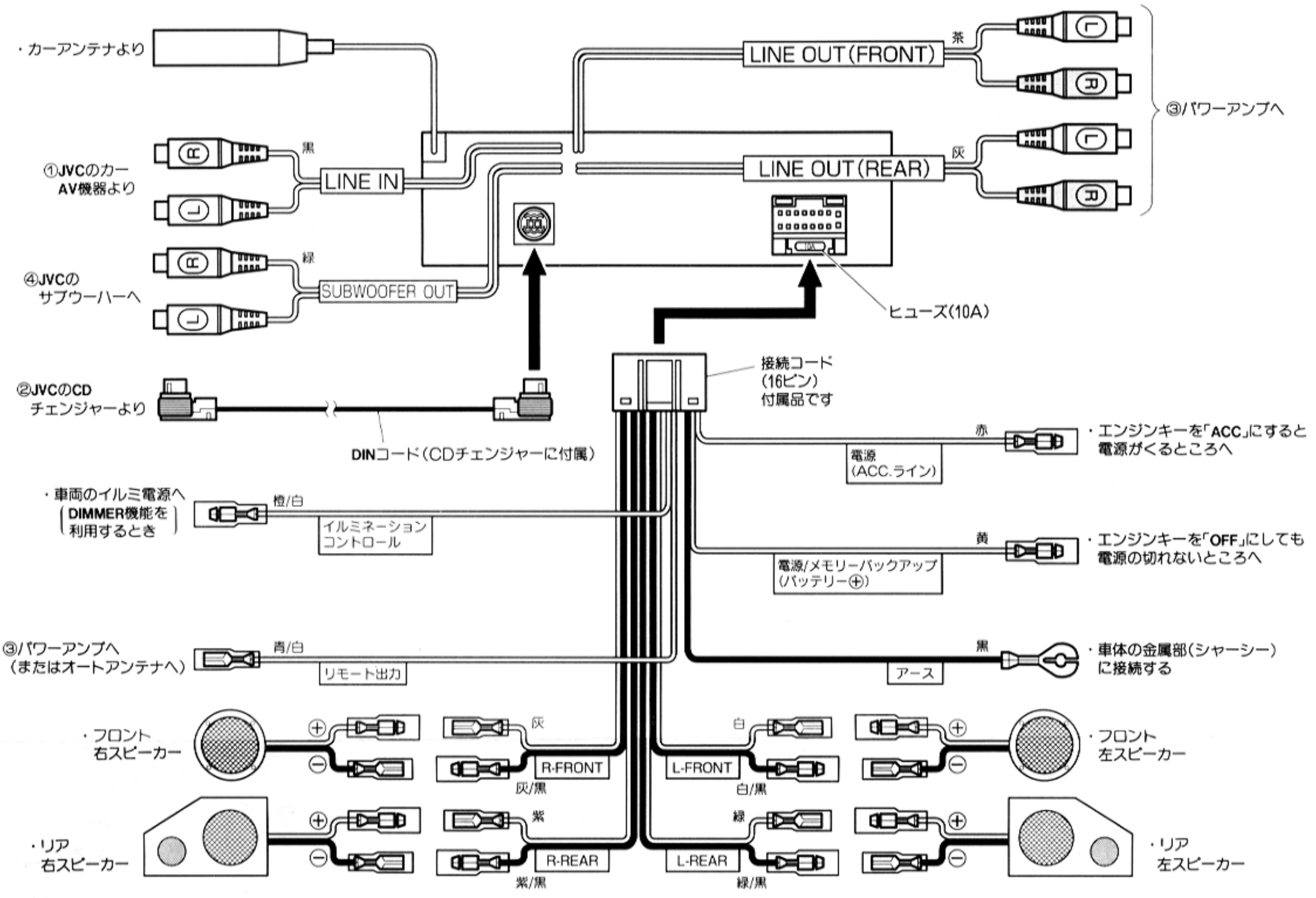
4. **SEL**ボタンを押す

接続のしかた

－ 赤色の 電源(ACC．ライン) コードは、必ず最後に接続してください。－

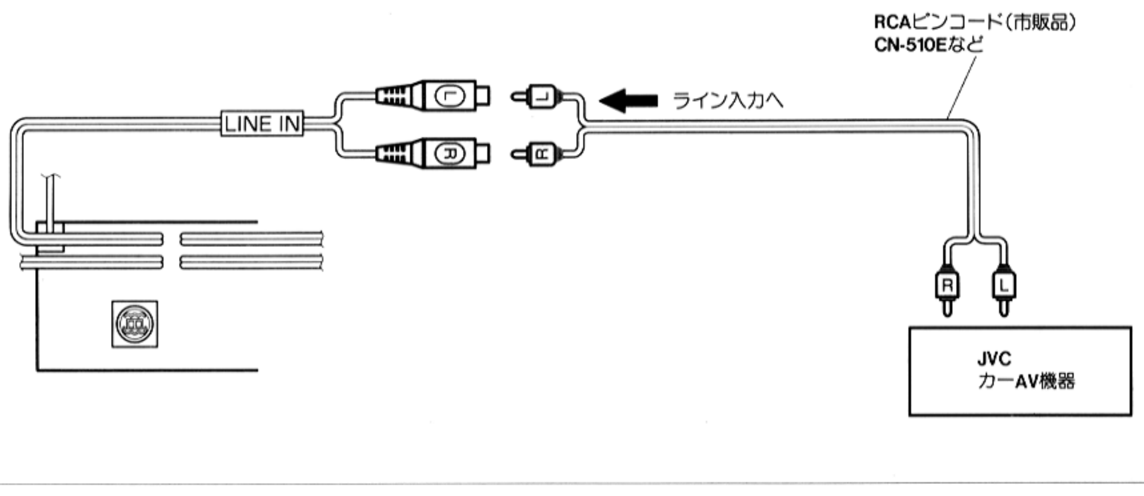
基本の接続

—4スピーカーシステムの接続例—(①～④はシステムアップする場合の接続を参照してください)



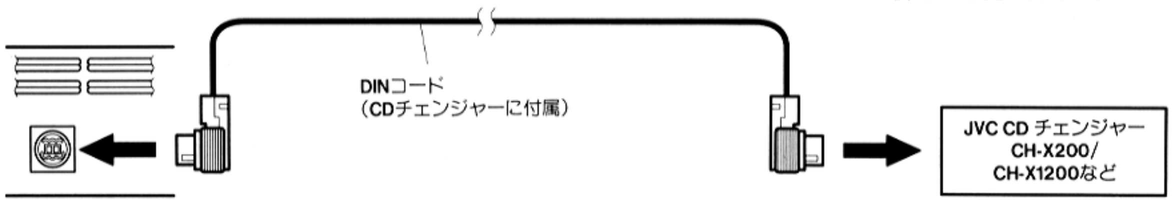
システムアップをする場合

① ライン入力端子を使用する場合



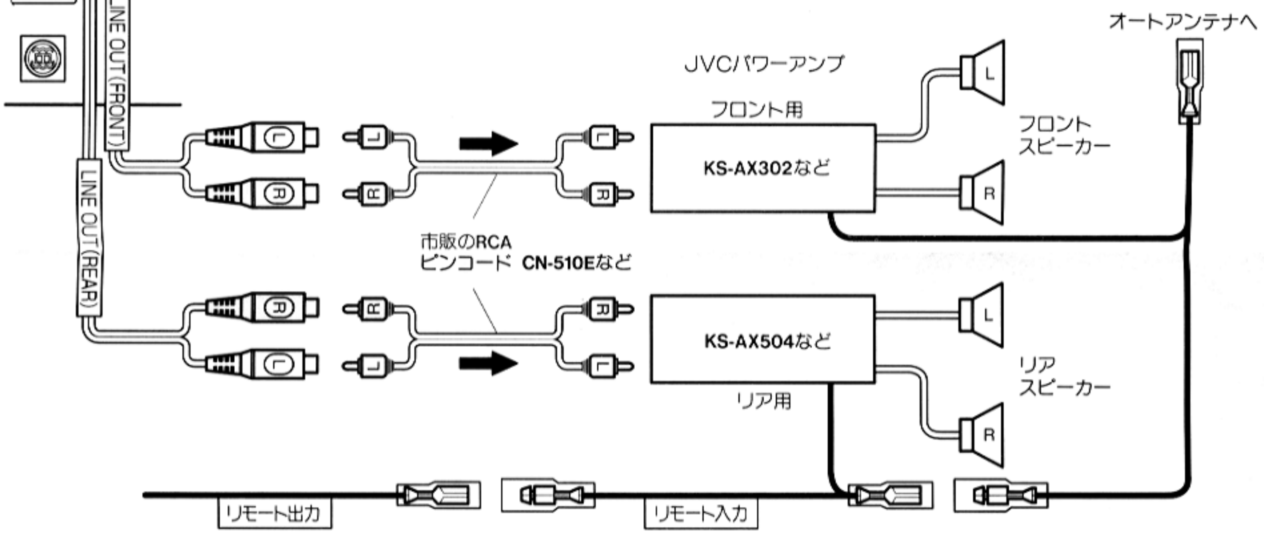
② CDチェンジャー(CH-X200など)を接続する場合

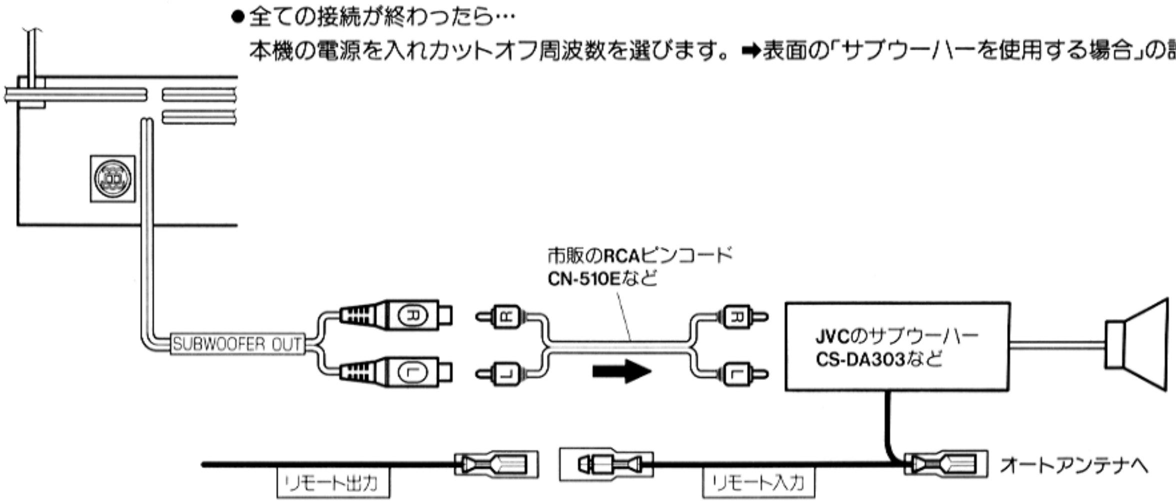
※CDチェンジャーの取扱説明書も
併せてご覧ください。



③ 外部アンプを接続する場合

●全ての接続が終わったら…
本機の電源を入れ「P. AMP OFF」に設定します。➡表面の「外部アンプを使用する場合」の説明参照



④ サブウーハーを接続する場合

●全ての接続が終わったら…
本機の電源を入れカットオフ周波数を選びます。➡表面の「サブウーハーを使用する場合」の説明参照